

トマト・さくら新聞

社会福祉法人こしば福祉会
 介護老人保健施設
トマト
 サービス付き高齢者向け住宅
さくら
 三重県津市殿村860-2
 電話059-237-5050
 FAX059-237-5650
<http://www.tomato.or.jp>



令和6年度事業計画・ 予算案が承認される

3月27日、令和5年度第5回こしば福祉会理事会が開催され、令和6年度の事業計画・収支予算他7件の議案が審議・承認されました。



人手不足や競争、物価高などの厳しい経営環境が続く中、令和5年は介護事業者の全国の倒産件数は122件に上り、過去2番目となりました。また、倒産以外でも事業を停止した介護事業者の休業・解散が510件と過去最多を記録し、介護事業者の苦

境が広がっています。

2025年に「団塊の世代」が75歳以上を迎える一方、生産年齢人口は減り続けており、良質な介護サービスを確保しつつ、人材不足に対応していくことが喫緊の課題となっています。

このような状況の中、介護老人保健施設トマトにおきましては、在宅復帰などに向けた体制を整備し、基本報酬の「基本型」から「加算型」へと区分変更を行いました。

また法人の「理念と方針」もあらたにし、これからも高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、地域包括ケアシステムの役割を担うべく各職種が協力し、高い施設評価が得られるよう今後とも緊張感をもって取り組んでまいります。

また、有料老人ホームさくら



との連携を強化し一体となった運営に取り組み、安定した経営に努めます。

施設整備面におきましては、各設備の老朽化が進んでいるため、今後とも計画的な予算執行による設備の更新や、利用者様のニーズに応える機器の整備に取り組みでまいります。

令和6年能登半島地震 三重県災害派遣福祉チーム (三重県DWAT) 派遣

令和6年能登半島地震で被災された高齢者の方などの支援に、三重県DWATの一員として、3/12〜3/17まで岡山・宮城・熊本・三重のチームで、輪島地域において支援活動を行いました。

被災された皆様から、不安やストレスなどの話を聞いたり、災害関連死を防ぐために、今後の方向性などアセスメントを行いました。

被災された方々が、生きていたことに感謝し、復興に向け前向きに過ごされている姿に触れ、まだまだ時間はかかりますが、

一日も早い復興を願っています。



消防訓練

3月21日、介護老人保健施設トマトで漏電に伴う出火を想定した消防訓練を、津市消防職員立会いのもと実施しました。

通報訓練・消火訓練・避難誘導訓練を実施し、火災発生時に慌てることなく、迅速かつ的確な行動がとれるよう、今後とも利用者様の安全と安心の確保のため、様々な訓練を実施してまいります。



通所リハビリより

【園芸】

12月に植え、少しずつ芽を出し、3月末から花が咲き始めました。咲いてからのお楽しみということ、数種類の球根を植え、花の種をまき、利用者様は首を長くして待ってみえました。チューリップやムスカリ等が咲き始め、利用者様の顔にも笑顔の花が咲きました。

【作品】

2月は画用紙を丸く切って2つ重ね、バケツの帽子をかぶせて雪だるまを作りました。





【花見】
 本年は暖冬の影響もあり、桜の開花も早いのかなと予想していましたが、例年より遅く4月に入ってから、ようやく満開となりました。少し肌寒さが残っていましたが、数名のグループに分かれ、敷地内を散歩し花見を楽しんでいただきました。



3月は花びらを重ね合わせ木に貼り、梅の木を作りました。今後も季節や月ごとの行事に合わせて作品を作っていきます。

暖かい日には、敷地内の散歩も行って、「これって、ハクモクレンと違う？」「梅の実もなってきたな」と、利用者様

毎月のアクティビティでは、少しでも季節を感じていただけるようちぎり絵や貼り絵などを作成していただいています。

入所棟より



皆さん楽しい昼食



午後のレクリエーション



3月31日と4月7日に施設の敷地内の花見に出かけました。31日は、ソメイヨシノは満開に程遠い2〜3分咲き程度でしたが、山桜は満開でした。7日は天候に恵まれ、ソメイヨシノも満開となり、手をたたいて喜ぶ利用者様、手を合わせて拝む利用者様も見え、春の日差しを感じながらの花見となりました。利用者様にとって、外に出る楽しみ、気晴らしが活力につながりますので、状況に合わせながらではあります。季節を味わえるイベントも企画して、利用者様の心身のリフレッシュが図れるようなサービス提供に努めてまいります。



まださくらは咲き始めでしたが、トマトの庭の休息所、おやつも食べていただき、お花見気分を味わっていただきました。今後とも、入居者様が安



さくら2階食堂からの眺め

「さくら」のイベント

本年1月下旬から3月にかけて、新型コロナウイルスの感染が発生しましたが、昨年のような感染拡大はなく、防ぐことができました。

入居者様そしてご家族様にはご心配とご迷惑をおかけいたしました。今後とも、感染対策は継続させていただきますので、ご理解とご協力をお願いします。本年はさくらの開花が例年より遅くなりましたが、普段、外に出る機会が少ない入居者様も見えますので、お花見を企画しました。

編集後記

心して心地よく過ごしていただけるようお手伝いさせていただきます。

春という季節は、寒暖を繰り返しながら暖かくなってきますが、近年、春が来たと思ったら、暑いが到来しています。

冷房の影響で室内外の温度差が広がる夏は、体温の調節機能が乱れる季節。急激な温度上昇に体が対応できず、熱中症や夏バテなど体調を崩す方も多く見えます。夏の暑さに負けない体になるには、暑くなり始める前から、徐々に体を暑さに順応させる「暑熱順化（しよねつじゆんか）」が効果的。日頃から「汗をかける」体づくりを行いましょう。

施設敷地内の春



編集員一同